

日本BS放送株式会社

2016年8月期 決算補足説明資料

2016年10月7日



東証一部 コード: 9414

2016年8月期 総括

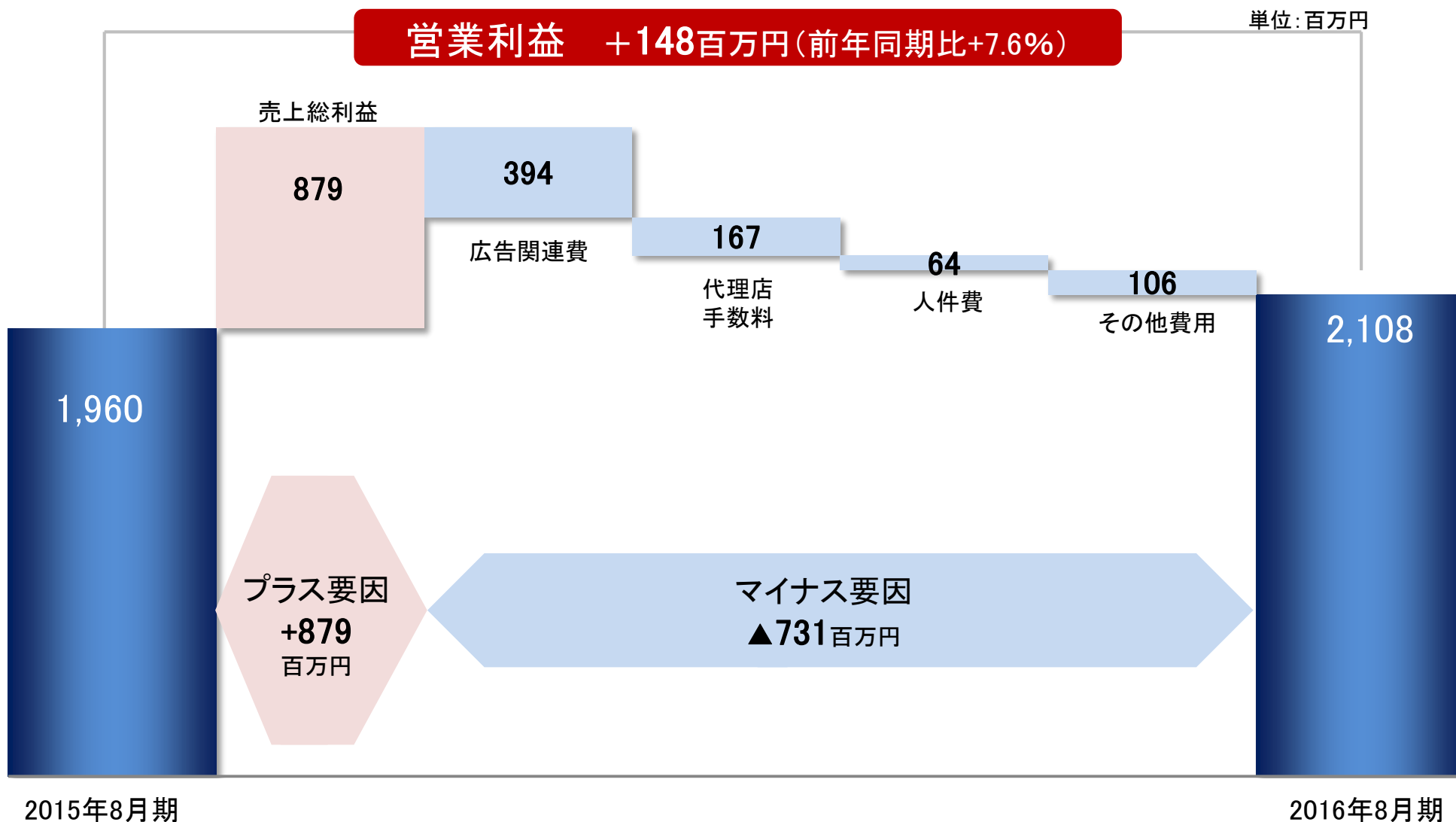
売上高 **10,212百万円** (前期比 15.2%増)

営業利益 **2,108百万円** (前期比 7.6%増)

- 売上、利益とも計画・前年を上回って推移
- 高品質な自社制作番組の放送による広告枠の付加価値向上
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効率的な広告宣伝の実施

(単位:百万円、下段は構成比)

	2015年8月期	2016年8月期						
		実績	前年比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	8,865 (100.0%)	10,212 (100.0%)	+15.2%	+1,346	10,200 (100.0%)	+0.1%	+12	(売上高) タイム収入は計画通りに推移 スポット収入(純広)が計画比 好調な推移による増加
売上総利益	4,704 (53.1%)	5,583 (54.7%)	+18.7%	+879	— (—)	—	—	(段階利益) ・売上高増加及び売上原価・販 管費の効率的使用による利益 増加
営業利益	1,960 (22.1%)	2,108 (20.6%)	+7.6%	+148	2,000 (19.6%)	+5.4%	+108	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価: ・番組関連費用は計画内での 効率的使用 ・その他原価項目の効率的使 用
経常利益	1,912 (21.6%)	2,137 (20.9%)	+11.8%	+225	2,000 (19.6%)	+6.9%	+137	販売管理費: ・広告関連費用を積極的に使 用したものの、その他販管費を 効率的に使用
当期純利益	1,216 (13.7%)	1,460 (14.3%)	+20.0%	+243	1,350 (13.2%)	+8.2%	+110	



(単位:百万円、下段は構成比)

	2015年8月期	2016年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	8,865 (100.0%)	10,212 (100.0%)	+15.2%	10,200 (100.0%)	+0.1%
タイム収入	6,392 (72.1%)	7,486 (73.3%)	+17.1%	7,581 (74.3%)	▲1.2%
スポット収入	2,259 (25.5%)	2,530 (24.8%)	+12.0%	2,455 (24.1%)	+3.1%
その他	214 (2.4%)	195 (1.9%)	▲8.6%	164 (1.6%)	+19.3%

主な増減要因(前年同期比)

■ タイム収入

- ・新規通販枠の獲得、既存通販枠単価が引き続き上昇したことによる増加
- ・特別番組の放送に伴う番組提供の獲得による増加

■ スポット収入

- ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポットが順調に増加
- ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が堅調に推移

■ その他

- ・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金収入、番組コンテンツの販売による収入

(単位:百万円、下段は売上比)

	2015年8月期	2016年8月期		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	2,601 (29.3%)	2,860 (28.0%)	+9.9%	
番組購入費	372 (4.2%)	527 (5.2%)	+41.4%	人気連続ドラマ購入による増加
番組制作費	2,228 (25.1%)	2,333 (22.8%)	+4.7%	制作番組の内容充実による増加
放送関連費用(原価)	646 (7.3%)	667 (6.5%)	+3.2%	
放送委託費	555 (6.3%)	555 (5.4%)	-	
技術費	90 (1.0%)	111 (1.1%)	+22.6%	放送関連施設充実のための施設移設費用増加
広告関連費用(販管費)	689 (7.8%)	1,083 (10.6%)	+57.2%	
広告宣伝費	621 (7.0%)	1,002 (9.8%)	+61.3%	番組視聴世帯数増加に向けた広告宣伝活動の強化による増加
販売促進費	68 (0.8%)	81 (0.8%)	+19.4%	広告宣伝など効果測定実施による増加

貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書の概要

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2015年8月期末	2016年8月期	
				増減額
流動資産		7,892 (52.8%)	8,993 (56.3%)	+1,100
	固定資産	7,049 (47.2%)	6,986 (43.7%)	▲62
資産合計		14,942 (100.0%)	15,980 (100.0%)	+1,038
流動負債		1,782 (11.9%)	1,640 (10.3%)	▲142
	固定負債	72 (0.5%)	59 (0.3%)	▲12
負債合計		1,854 (12.4%)	1,699 (10.6%)	▲155
純資産合計		13,087 (87.6%)	14,280 (89.4%)	+1,193
負債・純資産合計		14,942 (100.0%)	15,980 (100.0%)	+1,038

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年8月期	2016年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,788	1,612
税引前当期純利益	1,909	2,161
減価償却費	182	258
売上債権の増減額(▲は増加)	▲130	▲339
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲21	136
未払費用の増減額(▲は減少)	▲84	17
法人税等の支払額	▲149	▲736
投資キャッシュ・フロー	▲207	▲566
有形固定資産の取得による支出	▲190	▲565
財務キャッシュ・フロー	▲243	▲284
配当金の支払額	▲222	▲266
現金及び現金同等物の増減額	1,337	761
現金及び現金同等物の期首残高	4,794	6,131
現金及び現金同等物の期末残高	6,131	6,893

単位: 百万円

売上高

単位: 百万円

タイム収入

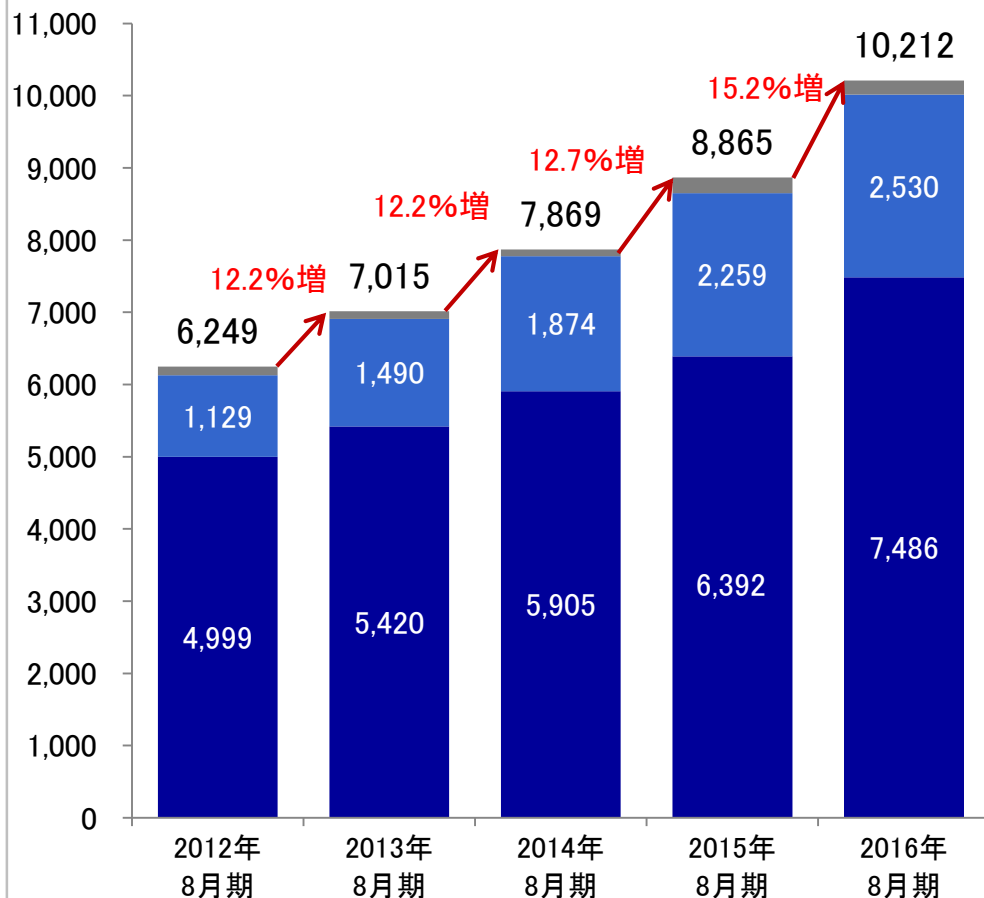
- ・広告主に番組の放送時間枠を販売
- ・広告主の提供する番組およびCMを放送

スポット収入

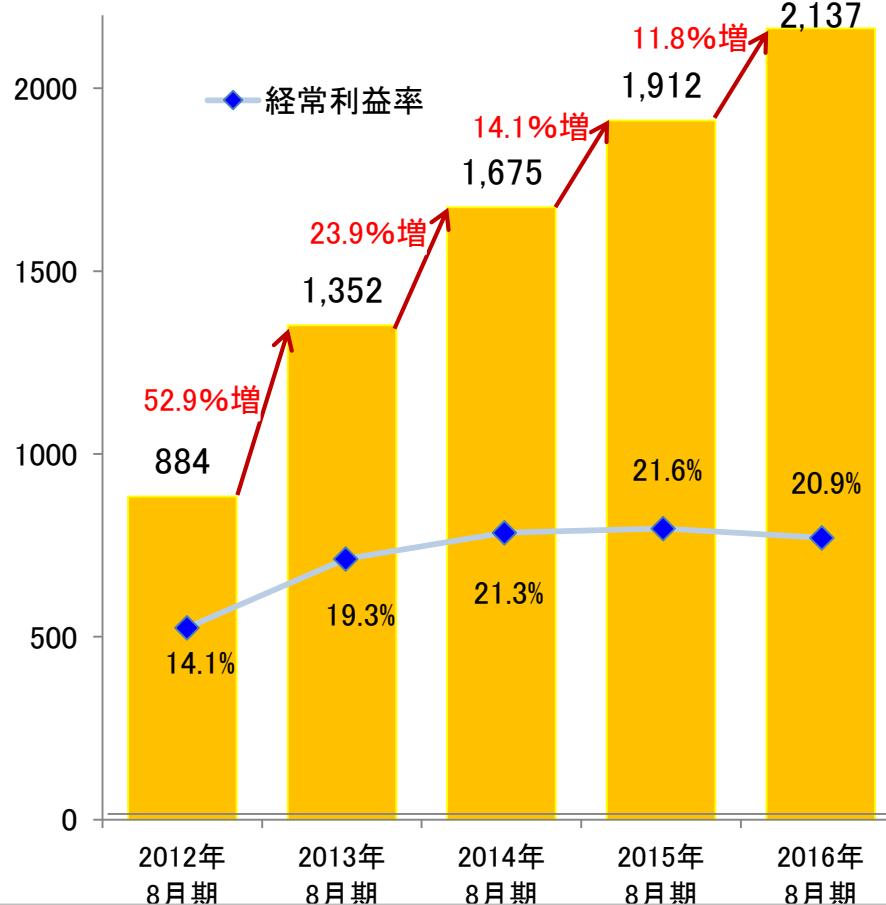
- ・広告主に番組と番組の間の時間枠等を秒単位で販売
- ・広告主のCMを放送

その他収入

- ・地上波ローカル局等への番組販売
- ・番組制作による収入

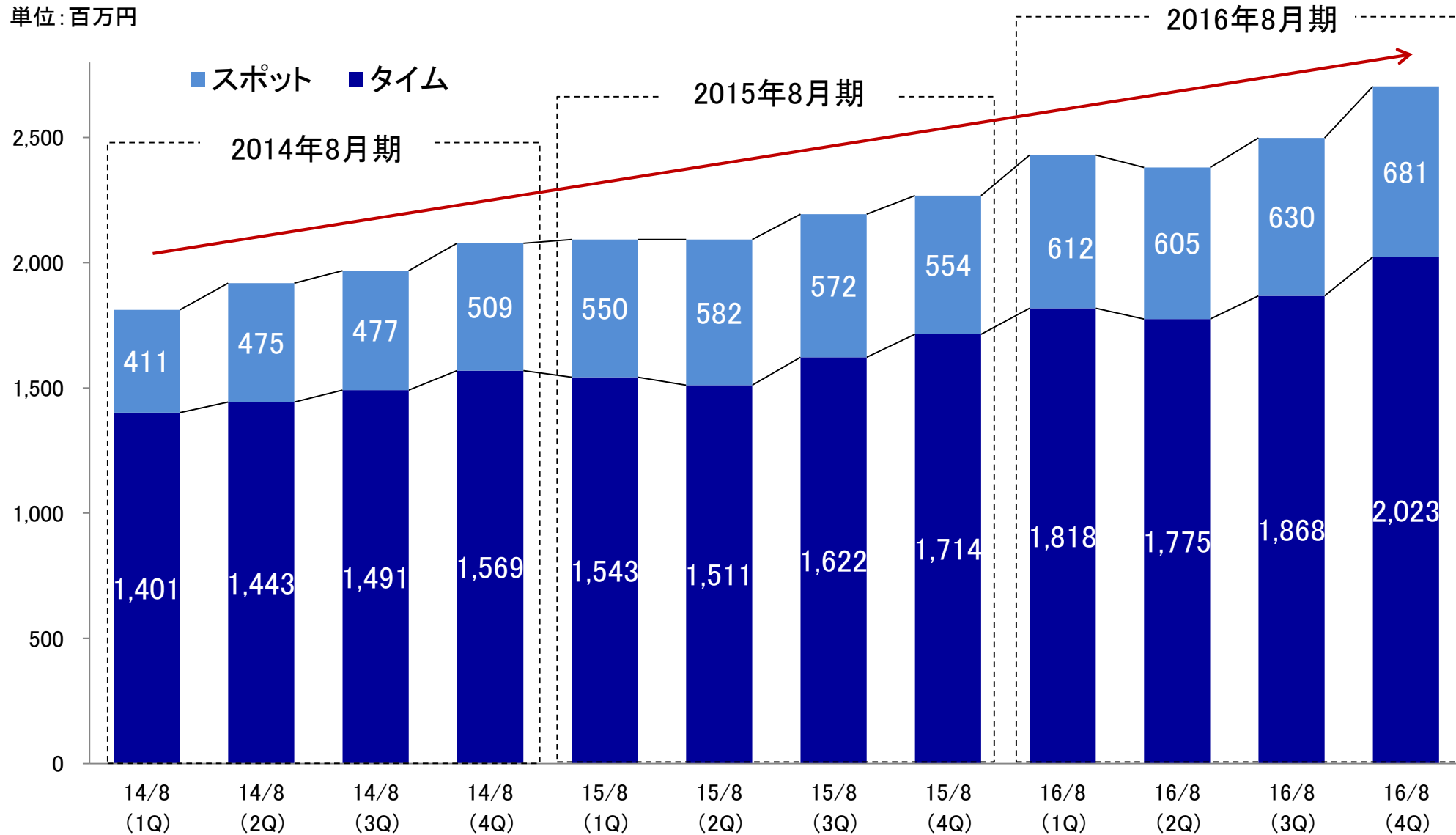


経常利益

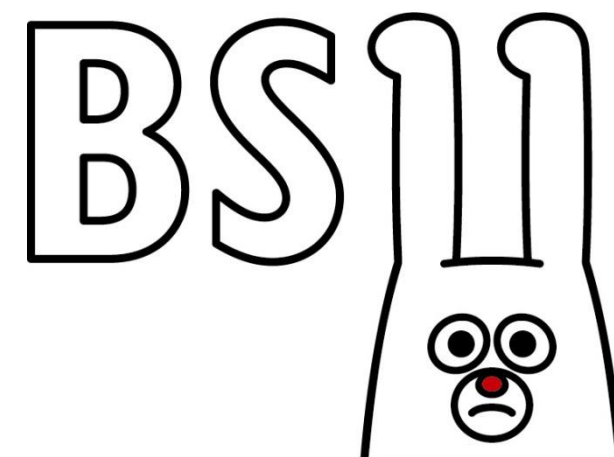


◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、引き続き増加トレンド

単位: 百万円



Ⅱ 通期計画



売上高は**12,000**百万円(前期比17.5%増)、営業利益は**2,200**百万円(前期比4.3%増)、
当期純利益は**1,460**百万円を計画

(単位:百万円、下段は構成比)

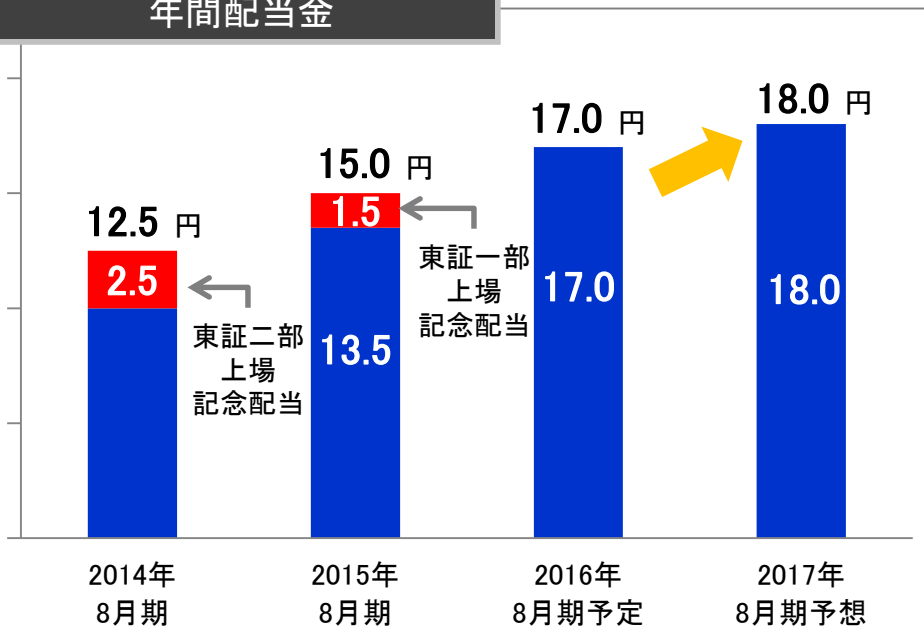
	2016年8月期		2017年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	4,898 (100.0%)	10,212 (100.0%)	5,600 (100.0%)	+14.3%	12,000 (100.0%)	+17.5%	+1,787
タイム収入	3,594 (73.4%)	7,486 (73.3%)	4,120 (73.6%)	+14.7%	8,857 (73.8%)	+18.3%	+1,370
スポット収入	1,218 (24.9%)	2,530 (24.8%)	1,384 (24.7%)	+13.6%	2,896 (24.1%)	+14.5%	+365
その他	86 (1.7%)	195 (1.9%)	95 (1.7%)	+10.4%	246 (2.1%)	+26.1%	+51
営業利益	1,184 (24.2%)	2,108 (20.6%)	965 (17.2%)	▲18.6%	2,200 (18.3%)	+4.3%	+91
経常利益	1,185 (24.2%)	2,137 (20.9%)	965 (17.2%)	▲18.6%	2,200 (18.3%)	+2.9%	+62
当期純利益	802 (16.4%)	1,460 (14.3%)	630 (11.3%)	▲21.5%	1,460 (12.2%)	▲0.0%	▲0

期末配当金を1円増配、18.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金



	2014年 8月期	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年8月期 (予想)
年間配当	12.5 円	15.0 円	17.0 円	18.0 円
普通配当	10.0 円	13.5 円	17.0 円	18.0 円
記念配当	2.5 円	1.5 円	0 円	0 円
1株当たり 当期純利益	77.67 円	68.34 円	82.04 円	82.01 円



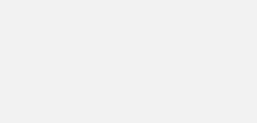

(注) 1. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

